

事業所名 放課後等デイサービス ゆうら

支援プログラム

作成日 令和7年 1月 17日

法人（事業所）理念		だれもが人として大切にされ 人として大切にされ 地域で自分らしく生きるために 私たちは 利用者はじめ だれからも信頼される支援を行い 安心して暮らせる地域社会の実現に貢献します (しあわせねっこ はぐくむために こころわくわくのびのびと ゆうらりほっこりしなやかに みちくさしながらぼちぼちと まるごとたのしみぼちぼちいこか)							
支援方針		子どもたちが自分は自分でいいんだと感じられるよう、一人ひとりまるごとを認め、できないことをできるようにするのではなく、一人ひとりの丸ごと受けとめできないことや苦手なことをさりげなく手伝いし、安心できる存在となるように支援をします。							
営業時間		学校がある日	13時	0分	17時	30分	送迎実施の有無	あり	なし
		学校がない日	9時	30分	17時	0分			
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<p>自分の身体を大切にするための、基本的な行動がとれるように支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事（個人にあった食形態で提供する。使いやすい食具を準備する。楽しい雰囲気の中で食べられるようにする。など） ・排泄（定期的に排泄を促す。清潔を保てるように、汚れた時は更衣をする。など） ・環境（安心・安全に過ごせる環境を整える。空間・時間を分かりやすく提示する。など） ・休憩（休憩できる環境を作る。保護者と睡眠時間の共有を行う。など） ・健康管理（健康状態の把握をする。場面毎の手洗いを促す。歯磨きを行い、口腔内の清潔を保つ、誤嚥を防ぐ。など） ・身辺自立（整理整頓の意識づけ。ひとつ終わったらひとつ片付けるの習慣を身につける。など） ・衣服調整（場面や状況に応じた服装・身だしなみを意識する。体調に合わせた衣類調節を行う。など） ・移動・散歩（体を動かかし気分転換を図る。健康増進を図る。など） 							
	運動・感覚	<p>遊びを通して、保有する感覚が活用できるように支援をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外活動（全身で季節を感じる。遊具を使って体を動かす。など） ・絵具/粘土/春雨/スライム遊び等（好きな感覚・苦手な感覚を知る。たくさん汚れる。など） ・散歩（階段の昇り降りをする。坂道を歩く。など） ・サーキット/体操/行進（楽しみながら体を動かす。音楽とともに体を動かす。など） ・環境調整（座りやすい机・椅子の準備。熱い・冷たいへの働きかけ。感覚過敏を緩めるための活動場所分散。など） 							
	認知・行動	<p>子どもが持っている感覚を活用し、認知機能の発達を促す支援をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節に関連した遊び（感性を育む。季節の物/旬の物を知る。など） ・プラ板/実験（目で見て変化を楽しむ。変化に気付く。変化を伝える。気づきに繋げる。など） ・綱引き・玉入れ（力加減を知る。物と物の距離/間隔を体で感じる。など） ・かける時間（順序や工程を考える。など） ・環境調整（スケジュールの可視化。次の行動に移せない時に視覚的働きかけを行う。など） 							
	言語 コミュニケーション	<p>思いを表現し、相手の思いを感じられる支援をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本/かるた（言葉を知る。やりとりを重ね、名詞を知る。など） ・歌あそび（一緒に楽しむ。など） ・子ども会議（自分の意見を伝える。他者の話を聞く。相手の意見を受け入れる。など） 							
	人間関係 社会性	<p>安心できる中で、ルール・マナーを学び、他者をの関りを重ねられる支援をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい遊び（安心感・自己肯定感に繋げる。自信につながる。など） ・地域行事の参加（社会のルールを伝える、知る。地域の行事に関心を持つ。など） ・ごっこ遊び（物の共有をする。折り合いをつける。譲り合う。など） ・外出活動（交通ルールを伝える、知る。危険なことを知る。など） ・集団遊び（遊びのルールを知る。人との関りから好き嫌いを知る。など） 							
	地域支援・連携 移行支援	<p>関係機関と連携し、安心して地域の中で過ごすことができるように体制を整える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校との情報共有、必要に合わせて会議の開催 ・相談事業所および並行利用事業所と情報共有/連携 ・地域交流および地域資源を活用したプログラムの提案 							
家族支援	<p>安心した家庭生活を送ることができるようサポートを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送迎サービス ・事業内容の情報発信 ・面談の実施 ・親子参加活動の企画 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・法定研修の実施（虐待防止研修/身体拘束等適正化研修/事故防止研修/感染対策研修/感染症BCP研修・訓練/自然災害に関するBCP研修・訓練/消防訓練/安全計画に係る研修コンプライアンス研修） ・理念研修・発達にかかる勉強会の実施 						
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・年始行事・節分・ひなまつり・子どもの日・七夕・夏のイベント・お月見・ハロウィン・クリスマス会 								

事業所名 ゆうら

公表日

令和7年 2月 17日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	3	・子どもやクラスの状態に合わせて、屋外活動を含めて環境調整しながら支援しています。	・以前から建物の老朽化について課題となっており、建て替えや移転の検討を重ねている中、2クラス運営の内の1クラスで、老朽化および環境整備不足から火災に繋がる事故が発生しました。第1の優先事項として対応していきます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	・2クラス運営のため、何か困ったことがあった際には、職員間、クラス間で連絡を取り合うようにし、環境調整しています。	建て替え移転に伴い、保護者に丁寧に説明をすること、生活空間を子どもに分かりやすい環境となっているのかを考え、環境設定をしていくことに努めていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	5	・建物は古いですが、毎日、掃除消毒をし清潔を保つように心がけています。	・子どもの状態、クラス状態を把握し、過しやすい環境を定期的に見直しができるように努めます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	5		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		・日々の保護者とのやり取りの中で、意見を拾い上げ、出してくれた時には、すぐ対応できるよう話し合いをしています。	・保護者アンケートを実施していますがが挙がってくる意見が少ないため、設問数等含め回答しやすい方法などを検討します。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・会議や面談等で職員から意見を出せるようにしています。	・保護者や職員の意見を聞き取る場面、時間を計画的に設け、聞き取り、タイムリーにか改善できる事はすぐに実行するように努めていきます。また、職員全員が自分事として捉え、考えられるように働きかけてチームとして取り組んでいます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	・第三者として、他事業所職員が支援に入ってくれた際の意見を共有し、改善に繋げています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	2	・計画作成の際に、集団活動、個別活動を組み合わせるようにしています。計画の内容についても、職員間での共有を行っています。また、計画に沿った支援ができるよう、支援記録に計画内容を落とし込み、いつでも計画を見れる状態にしています。	・サービス提供プロセス順の見直しを行い、個別支援計画内にプログラムを関連付けて作成に繋げられるようにしていきます。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		・アセスメントシート、日々の記録から子どもの状態を知れるように働きかけています。	・プログラム立案手順・振り返り方法の見直しを行い、集団・個別支援プログラムの充実を図っていきます。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・プログラム内容が固定化しないように、担当する職員を月毎に変えるようにしています。	・5領域に係るプログラムについて理解を深めるとともにゆうらとしての特徴が伝えられるような活動提案を行っていきます。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・記録と支援ミーティング等の会議の時間を活用し、支援の検証や改善に繋がられるようにしています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3		
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7			
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1		

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・相談支援機関や市町とは必要な時に連携をとることができるよう細かなやり取りに努めています。	・学校との連携強化に向けた取り組みの進みが悪いと、計画立てて連携強化に取り組み、支援に反映していくために個別支援計画を共有し、学校と事業所の支援のすり合わせに努めています。また、定期的な情報共有ができる仕組みを検討していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		・学校とは送迎時の短い時間ですが、先生と顔を合わせ様子の共有、課題の共有をしています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		・地域へ出て、公園で出会った地域の子どもたちとふれあう時間を持つことができているため地域資源活用した活動を多く実施しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		・ゆうらでの姿や様子など、必要な情報を保護者と共有をしています。また、課題となってくるのが予測される場合には、事前に保護者に伝えるようにしています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	6		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・日々の送り出しでのやりとり、ブログ、活動記録、便り等を使用して子どもや事業所の情報を伝えています。	・個別支援計画を作成する際に、こどもや保護者の意向確認を行っています。聞き取りの流れが定まっていないため、サービス提供プロセスの流れに組み込み、意向確認を行い記録に残し、計画作成に努めています。 ・保護者への連絡手段が限られています。アプリ、SNSを使った連絡体制を検討していきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・親子参加型プログラムを開催し、保護者同士、職員との交流に繋げることができています。そこから、意見を拾い上げるようにしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		・個別支援計画作成の際に、こどもや保護者へ意向確認し、記録に残すようにしています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	3	・マニュアルに関して、職員間で周知しています。防災訓練の姿は便りで発信をしています。	・安全計画の年間計画を策定し、計画的に研修・訓練の実施、マニュアルの見直しをしています。また、訓練方法を見直し、実施に繋げていきます。マニュアルや計画の周知において、マニュアルの数が多く保護者の方が目を通しにくいものかと思います。事業所掲示だけでなく保護者の方が必要な情報を整理しながら事業所での対応を共有していきます。 ・保護者への連絡手段が限られています。アプリ、SNS等を使用した連絡体制を検討していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	・事業継続計画（BCP）、安全計画の策定を行い、全職員が定期的な研修と訓練を受講し、非常時の対応に取り組んでいます。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		・171訓練を保護者にも参加できるよう案内周知をし、訓練後、アンケートも取り保護者の意見も聞き取れるようにしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		・支援ミーティングや会議などで共有し、ヒヤリハット、事故に対する対策等話し合いながら取り組んでいます。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・研修関連は、年間での取り組みを考え実施をしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7				

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ゆうら		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 1日		～ 令和6年 11月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 1日		～ 令和6年 11月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ミーティング、会議、研修等で子どもたちの姿を職員間で話し、共有する機会が充実している。	子ども達の見せる姿を振り返る、保護者との話を共有することで、支援の課題となる部分を職員間で話し合い、検証と改善に繋げている。	各種会議運営の見直し、ミーティング項目の整理を行い、個別支援計画に基づいた支援を強化していきます。
2	多様な集団活動プログラム	法人の特性を生かし、他事業所への訪問と交流を行ったり、土曜日開所の活動を中心に本物に触れる機会を設けたり、地域資源を活用した取り組みを考えています。また、夏の親子イベントも企画している。	魅力ある事業所となるよう、5領域にかかるプログラムや事業所特色を明確化し、ゆうらだからこそできる活動を充実させていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	安心安全に過ごせる環境	建物の老朽化	・早急に老朽化改善に向けた移転等にとりくみます。取り組み経過において、安全に配慮した同線と環境整備に努めています。
2		安全計画にかかる取組が仕組み化されていない	・事故防止にかかる取組の整理と計画および体制整備を行い、安全に過ごすことができる環境を整えます。
3	学校との連携	送迎時の短時間での情報共有が主となっている	・継続して学校と個別支援計画の共有を行います。また、定期的な情報共有ができる仕組みを検討していきます。

事業所名	ゆーら
------	-----

公表日 2025年2月17日

利用児童数 2024年12月1日現在 49名

回収数 19

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	2	0	1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	1	3	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	6	0	3		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	9	2	1		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	2	0	1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	0	0	2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	1	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	2	0	1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	1	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	1	0	0		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	6	2	1		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	1	1	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	5	2	4		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていますか。	18	0	1	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	3	1	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	1	0	0	職員によって寄り添ってしてくれる方としてくれない方がいると感じる時がある。	こども、保護者に丁寧に対応することを徹底し、職員間での差を感じないように努めています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	5	2	3		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	1	0	3		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	0	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17	0	0	2		
非 常 時 等 の 対 応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	0	0	0		
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	0	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	1	0	1		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	0	1	2		
満 足 度	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際 の状況等について説明がされていると思いますか。	14	1	2	2	知らないうちに怪我をしていたり、痣があつたりして報告がない時があります。怪我をする前に防ぐ努力もお願いしたいです。	職員間での報連相を徹底、強化し、怪我、事故があつた際には、漏れることなく伝えられるようにしていきます。ヒヤリハットの共有と環境整備を日々行い、大きな事故に繋がらないようにしていきます。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	18	0	0	1		
満 足 度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	3	0	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	1	0	0		